

報道関係各位

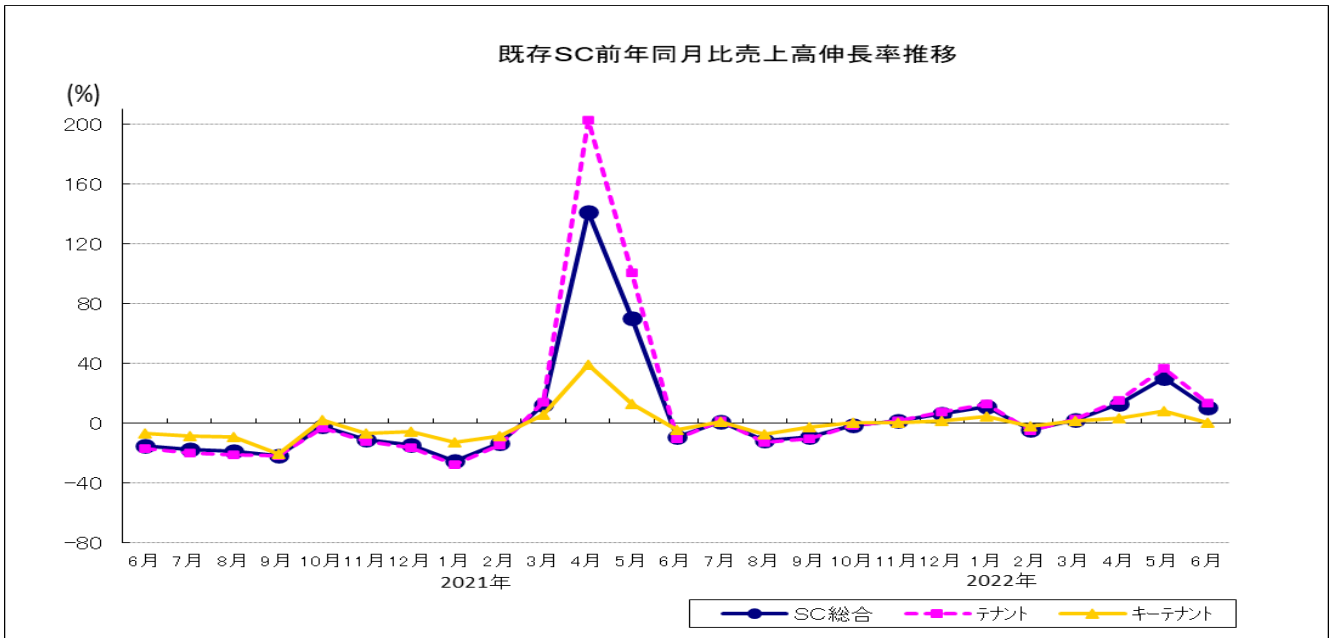
SC販売統計調査報告2022年6月

既存SC前年同月比売上高伸長率 : +10.6% (参考:2019年同月比 : ▲13.4%)

全国的な感染状況の落ち着きが見られ、前年比二桁増続く

< 2022年6月度・全体概況 >

- 6月度の既存SC売上の前年同月比伸長率は、総合で+10.6%となった。
- 前年同月は、北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、岡山県、福岡県が20日まで、沖縄県は月を通じて緊急事態宣言下となり、休業や時短営業の影響で売上が大きく落ち込んだ。当年は全国的に新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きが見られ、イベントやセールの実施により来館者増で売上を伸ばしたSCが多かった。梅雨明けが早く気温が上昇したことで、衣料や雑貨などの夏物商材を求める動きが活発化した。観光立地のSCでは、前年と比較して修学旅行やシニア層の団体などの観光客の姿が多く見られたという声も聞かれた。2019年6月と比較すると、▲13.4%とコロナ禍前の水準は下回っているものの、前月に引き続き売上が回復傾向にあることが見てとれる。一方で、人出は戻ったが客単価が下がって売上が伸び悩んでいるSCも見られ、これは物価上昇による値上げの影響と思われる。
- テナントは、前年同月比伸長率+13.6%となった。業種別に見ると、ファッションは梅雨明け後の気温の上昇により夏物衣料の売行きが好調だった一方、中国・上海のロックダウンの影響により、一部の衣料品に在庫不足が引き続き見られた。飲食は行動制限がなく外出需要が高まったことにより、特に昼の時間帯に客数増加が見られた。
- キーテナントは、前年同月比伸長率+0.3%となった。前年同月は緊急事態宣言・まん延防止等重点措置(以下、宣言等)の発出による生活必需品の買い溜めが多かったが、当年はその特需の影響が薄まった。



以上

この件に関するお問い合わせは 情報・リレーション部: 菰田・木口
TEL:03-5615-8524

※お手数料をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りいたしますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当: 浅田・菰田・木口・村松
Tel. 03-5615-8524 / Fax 03-5615-8539
Mail. pr@jcsc.or.jp